

推し活が若者に与える心理や健康への効果

薮島悠

近年、多くの人が推し活をし、推し活は心理や健康に効果的であるとされている。コロナ禍を経てオンラインコンテンツが充実してきた中でも、リアルライブやイベントの価値は再認識されていると考えられる。しかし、オンラインでの推し活とリアル（対面）での推し活とで効果の違いが明らかにされた論文は見当たらなかった。そこで、まず本論文では、リアル（対面）の推し活とはリアルライブやイベントへの参加するものとし、オンラインの推し活とはリアルライブやイベントに代わる、オンラインライブやオンラインイベントの参加に限定したものとして扱った。そのうえで、対面の推し活はコスト高であるが、オンラインよりも、人に心理や健康への効果が高く、価格以上の満足度があるため、支持されているという仮説を立て、研究を進めてきた。

まず、若者の大学生・大学院生、社会人、専門学生を対象とした心理や健康への影響に関するアンケート調査から、意欲・自己肯定感、充実感、精神的健康、社会的健康のどの項目においても、リアル参加の方がより好影響を得られていることが明らかになった。特に、社会的健康への影響に関しては、リアル参加とオンライン参加で大きく差が見られることが分かった。また、リアル参加ではライブやイベントの時間に限らず、準備や移動時間など付随する楽しみや効果が多くあるため、前後の時間も好影響を得られることが分かった。さらに、コストパフォーマンスの面において、推し活をするにあたり、費用や時間が負担になっている。しかしながら、リアル参加ではオンライン参加より約5倍の費用がかかるにも関わらず、満足度が高くほとんどの人がリアル参加を支持していることが明らかとなった。コストがかかっても実際に行く、会うということの価値が高いことが分かった。

よって、リアル参加の方がコスト高であるが、心理や健康に効果的であることが明らかになり、仮説が検証された。しかし、アンケート調査の回答属性に偏りがあったこと、リアルライブやイベントとオンラインライブやイベントを比較した論文はまだまだ少ないことは今後の課題である。